

試合さながらの迫力



バランスボールを押し合う五郎丸選手
(右) = 9日午後、西階陸上競技場

実現のきっかけは、今年2月に西階陸上競技場であったラグビー教室。講師を務めた旧延岡東高卒の堀川隆延監督(46)は柔らかい芝のグラウンドを特に気に入り、何度か視察をした上で市の誘致に応じた。

初日のチームトレーニングは

ラグビートップリーグに所属するヤマハ発動機ジュビロ(本拠地・静岡県磐田市)の延岡合宿が9日から、西階陸上競技場スタート。一般公開としている午後からのチームトレーニングは活気があふれ、選手たちは大きな声を出しながら精力的に体を動かしていた。合宿は13日まで。

ラグビー

トツプリーグのヤマハ

開幕見据え、延岡で強化

合宿はトツプリーグの開幕に合わせた事前強化が目的。これまではそのリーグ戦が夏に実施されていたため、合宿先も夏に涼しい北海道だった。しかし今回、来年1月12日からリーグ戦が始まることとなり、冬も比較的温暖な延岡へと移した。

合宿はトツプリーグの開幕に合わせた事前強化が目的。これまではそのリーグ戦が夏に実施されていたため、合宿先も夏に涼しい北海道だった。しかし今回、来年1月12日からリーグ戦が始まることとなり、冬も比較的温暖な延岡へと移した。

合宿はトツプリーグの開幕に合わせた事前強化が目的。これまではそのリーグ戦が夏に実施されていたため、合宿先も夏に涼しい北海道だった。しかし今回、来年1月12日からリーグ戦が始まることとなり、冬も比較的温暖な延岡へと移した。

練習後にはサインや写真撮影を求めた。堀川監督と中高一緒だったという延岡市若葉町の後援者(智さん(46))は「本物」を生で見るのができ、子どもたちも夢を語る素晴らしい機会と感嘆。すつこ「これからもほしい」と大歓迎。息子の優斗君南小3年 は「みんな体が大きくなってカッコイイ。日本一になってもらいたい」と選手にくぎ付けだった。

大戸裕矢主将は「素晴らしい環境の中でいい練習ができています。さらに強くなって日本一という結果を延岡市に報告できたいと思います」と話した。

延岡市や企業などの延岡合宿を実施しているヤマハ発動機ジュビロに地取れのメニューなど激励品を送った。

贈呈したのは、市や市議会、延岡商工会議所、延岡観光協会など、公共団体、JA延岡、民間企業、NPO法人の16団体。エビ、フナなど特産の農林海産物を中心にそれぞれ1品目ずつ準備した。エンシテイホテル延岡で行われた贈呈式で、読谷山洋司市長は「心から



読谷山市長から激励品のパネルを受け取る延岡市出身のヤマハの堀川監督(9日、エンシテイホテル延岡)

「援えています」とあいさつ。これを受け、ヤマハの大戸裕矢主将は「延岡市という素晴らしい環境で合宿できることに感謝します。頂いたものをいっぱい食べて素晴らしい合宿になります。サポートよろしくお願いします」と感謝を述べた。